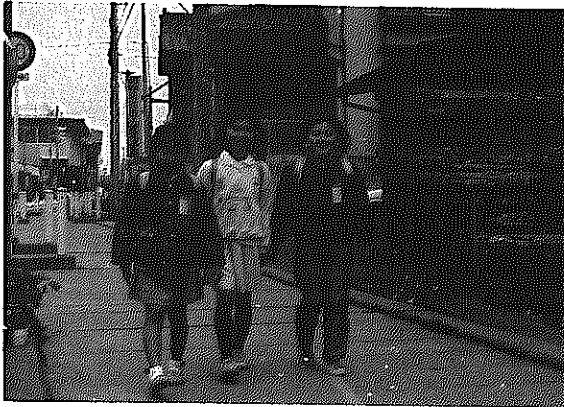


# 白根都市下水路(幹線)が完成

## 今後は支線を重点的に整備

昭和四十五年度から着手した白根都市下水路計画は、十八年間で二十二億一千三百七十万円をかけて工事が行われ、このほど、東西の排水幹線合わせて四千五百二十メートルが完成しました。

同計画は、市街地化が進んできた戸頭から鯉沼までの二百三十メートルの排水処理するため取り組んだ



整備された下水路には、鉄筋コンクリートのふたがしてあり、歩道として散歩・ランニングコースにも活用されている(旭町地内)

もので、同計画区域は昭和二十七年から進行した地盤沈下のためたん水地域が増えてきた。②雨水などの排水に農業用施設を利用して来た——などのため大雨の度に浸水し、三十三年から四十二年までの十年間に、延べ六千四百一十一戸も被害家屋が出るほどでした。工事はポンプ場の建設から始め、



四十二年の八・二八水害

四十八年度に現鯉沼ポンプ場が完成し、まず四百五十メートルのポンプ一台を設置しました。次いで四十九年度に、千メートルのポンプ一台を設置したことで、浸水区域は減つてきました。

五十年からは幹線排水路工事を中心に取り組みながら、ポンプ三台を設置し、今では同ポンプ場に四百五十メートルが一台、千メートルが四台の計五台のポンプが設置されています。

東西の幹線排水路が完成したことで、三月二十九日、工事関係者が出席して竣工式が行われ、出席した人からは「工事開始後十八年という長い間、無事故で工事が進められたことを喜んでいきます。わき水対策として徹夜で工事をしたこともありました」などの苦勞話も聞かれました。

### 北部工業団地へ新たに4社が進出

三月二十三日、北部工業団地への進出企業四社と、市との協定書調印式が市役所で行われ、これで十四企業が同団地へ進出することになりました。

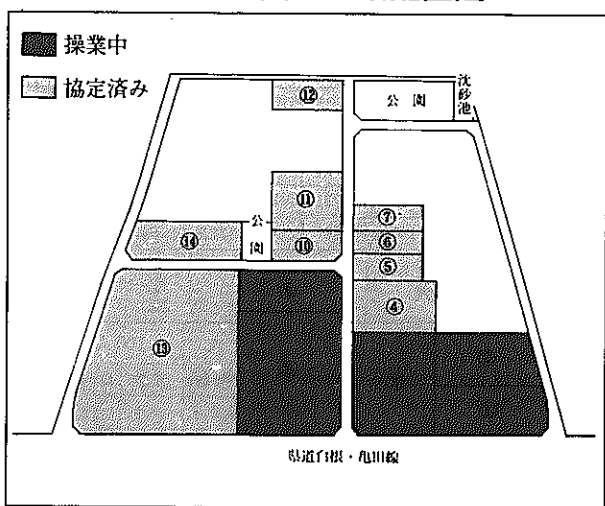
今回調印したのは、(株)特装工業(本社・白根市、北村泰作社長)、石橋工業(株)(本社・福島県、石橋隆純社長)、(株)渡一製作所(本社、白根市、渡辺一製作所)、以上金属製品製造業、(有)越路開発(本社、白根市、小林 誠社長、木材加工業)で、用地希望面積は合計一万四千五百一十一・二平方メートル。この協定で、同団地十九万二千五百四・九五平方メートルの六六・九%

にあたる十二万八千八百六十五・三平方メートルが、本契約や予約済みとなりました。現在操業中の企業は、進出企業十四社のうち、川上工業(株)、(株)スタンレー新潟製作所、新潟キセキ販売(株)、トヨタカローラ新潟(株)、トヨタ部品新潟共販(株)の五社です。

#### 誘致促進に情報提供を

同団地には、現在約三三・六万三千六百平方メートルの余地があります。皆さんの中で、団地への進出可能な企業や、手狭なため他への移転を考えている企業を知っている人がいましたら、情報を商工観光課(☎373・2111)へ217)へお知らせください。ご協力をお願いします。

北部工業団地企業配置図



- ①トヨタカローラ新潟(株)
- ②トヨタ部品新潟共販(株)
- ③新潟キセキ販売(株)
- ④(株)特装工業
- ⑤石橋工業(株)
- ⑥(株)渡一製作所
- ⑦(有)越路開発
- ⑧川上工業(株)
- ⑨(株)スタンレー新潟製作所
- ⑩(株)皆木勝栄商店
- ⑪浪速運送(株)
- ⑫(株)建設技術開発センター
- ⑬ダイニチ工業(株)
- ⑭(株)ホンマ製作所

### 白根市文化スポーツ振興基金

市民の有志が、「文化スポーツ振興基金をつくる会」(渡辺栄吉理事長)を結成し、市内の文化スポーツの振興と子供たちの育英のため、皆さんに基金への寄付を働きかけています。

達成のため、皆さんのご協力をお願いします。

#### 寄付の方法

一円以上ならいくらでもけっこうです。事務局またはお近くの金融機関で「文化スポーツ振興基金へ」とお申し出ください。いっぱいになった募金箱もこちらへどうぞ。

- 事務局 教育委員会社会教育課
- 寄付受付金融機関 第四銀行白根・小須戸・月瀧・酒屋・大野支店、北越銀行白根・黒崎支店、新潟相互銀行白根・小須戸・大野支店

店、大光相互銀行白根・大野支店、新潟信用金庫白根・大野支店、協栄信用組合白根・新飯田・小須戸支店、白根市農協本所・各支所、新飯田農協、庄瀬農協、鷲巻農協

#### 問い合わせ

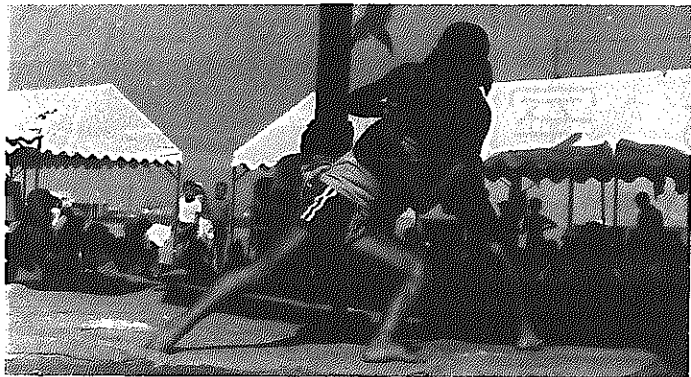
基金についての詳しいことは、基金をつくる会事務局(教育委員会社会教育課・☎373・3171)へお尋ねください。

なお、各団体や地域の集まりで詳しく説明してほしい場合は、係員が伺います。ご連絡ください。

#### 寄付をありがとう

(3月31日現在・敬称略)

- ▼庄瀬上町町内会、白根あゆみクラブ、白根市テニス協会、新飯田地区青少年健全育成協議会、(株)ライオン堂白根店、理研電線(株)新潟生産本部、白根電報電話局
- ▼募金箱：(株)藤崎兄弟商会(親和町)、社会教育係(教育委員会)、白井地域生活センター、大郷同、茨曾根同、公民館主催事業会場



10年間で1億円を目標—  
1年目は509万円  
2年目は579万円でした  
62年度寄付金の状況

団体	98件	1,672,208円
法人	62	2,255,000
個人	81	1,509,000
募金箱	65	257,117
チャリティーショー	1	100,000
合計	307	5,793,325

基金をつくる会が61年2月に発足してから今年の3月31日までに、団体や法人、個人などから584件、11,886,500円の寄付がありました。この益金は、該当者がいれば本年度から活用されます。



募金箱の寄付が倍増

募金箱が現在、家庭や職場、部落・町内会、金融機関、学校など、いたるところに置かれています。62年度の募金箱の寄付は、件数、金額とも前年の倍に増え定着してきました。金額にはこだわりません。団体の会合などの際、集まられたかたがたの善意を、または職場で関係者の善意を、さらには家庭で埋もれている小銭などを募金箱に入れてください。新たに募金箱が必要な場合は事務局にご連絡を。

あなたの熱意を基金にくっつけてください